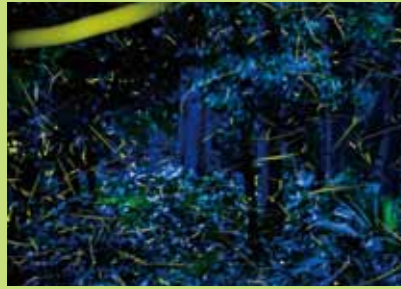


自然の恵みに触れる

日本一東京から近い町で
ホタルを見られる



竹間沢の公園「こぶしの里（竹間沢1081-1）」には5月下旬から6月上旬にかけてホタルが舞い、町内外から毎年多くの人々が訪れ、幻想的な光に魅了されます。夏になると昆虫採取をする親子の姿も。地元の有志で結成した竹間沢ほたる育成会の地元愛によって、私たちはホタルの光を楽しむことができます。

意外と知られていない地元の祭り

8月23・24日は
木ノ宮地蔵夏の祭礼の日



8月23日・24日は木ノ宮地蔵堂（上富1501）で縁日が行われ、出店が並び大勢の人が参拝に訪れます。境内には上富囃子保存会による山車と上富囃子の囃子奉納があり、祭りを盛り上げてくれます。さらに、江戸時代中期に描かれた天井画が祭礼時のみ公開され、107枚の植物画を見られる貴重な祭りです。

親子でドキドキワクワク体験

カブトムシやクワガタ採取
バーベキューも楽しめる



自然豊かな三芳町の公園。園内にはカブトムシやクワガタのご馳走となる樹液を出すクヌギやコナラの木がたくさんあります。緑地公園（藤久保1112-1）では毎年虫取り網を持った親子の姿が。緑地公園は町内で唯一バーベキューができ、休日になるとテントを張り、家族や友人たちと楽しむ光景が見られます。

f 2千発の花火が夜空を彩る
第25回 みよしまつり

日時 **9/5** (土) 15:00 ~ 20:30
(雨天9月6日(日)に順延)

会場 三芳町役場周辺・町立運動公園
問 自治安心課 (内線 267・268)

お願い 会場周辺道路を交通規制します。
会場までは徒歩または自転車でお越しください。

AR
YouTube



大好き！みよしまつり。

三芳町出身 三芳町広報大使 モーニング娘。OG
吉澤ひとみさん



生まれ育った三芳町の印象は何より緑が多いところ。埼玉県は海がないけど緑がたくさん。夏はカブトムシをとりに行ったりしました。また、三芳町といえばさつまいも。いも掘りや遠足で茶摘み体験をしたのが良い思い出。なんといっても「みよしまつり」が私のイチ押し。花火が大好きです。



TOKAINAKA

町に来て、
観て触れて
恋をする。

自然と緑に囲まれた
夢のような町

日本で一番東京に近い町。地方と呼ぶには近すぎる三芳町は先人たちが切り開き、長い年月をかけ、木々があふれる緑の大地にしました。

武蔵野の面影を残す雑木林の豊かな緑は、三芳町の魅力の一つ。町内には平地林や公園があり、夏にはカブトムシやクワガタなどの昆虫採取をする親子の姿が見られます。さらに住民による自然環境の整備で天然のホタルを観ることができるようになりました。都会に暮らす人たちが、昆虫が大好きな子どもたちにとって



住民意識調査では、町の誇り・宝・シンボルといえば「自然と緑が豊か」と答える住民が一番多かった。

「夢のような」町とも言えます。三芳町に暮らす人たちにとっては当たり前のことが、実は磨けば町の地域活性化、魅力発信に繋がる。ダイヤの原石、となる可能性を秘めています。

住民が考える
おすすめNO.1は
みよしまつり

昨年住民対象に行った住民意識調査によると、町の一番のおすすめは「みよしまつり」。平成元年に「みよしまつり」をスタートし、翌年の町制施行20周年記念まつりを経て、平成3年から毎年9月の第1土曜日にみよしまつりが開催されるようになりました。昨年は三芳町の人口を上回る4万5千人が来場。地域が一つとなり、地元愛を感じることができた三芳町を代表するイベントです。

気軽に楽しめる
「トカイナカ」

都会に住んでいるとなかなか体験できない、自然との触れあいイベント。実は身近な場所に「お宝」がたくさんあります。都会から気軽に自然を楽しむことができる立地は、三芳町の大きなセールスポイントです。

秋まで待てない！いも掘りまつり最新情報

“世界一のいも掘りまつり”10月3日(土)に決定！

三芳町が世界に誇る三富新田の長い畝を利用し、一同がさつまいもを掘る「世界一のいも掘りまつり」を今年も開催。昨年は

約670人が参加し心地よい風、土の香りを感じながら三芳町、三富新田の歴史を体感しました。味良しの味力がギュッと凝縮された「食ブ

ス」、スタンプラリーなども並行して開催。もっともっと三芳町が好きになり町に“恋”してしまうこのまつりの続報は次号で。



問 観光産業課 (内線 214・215)

